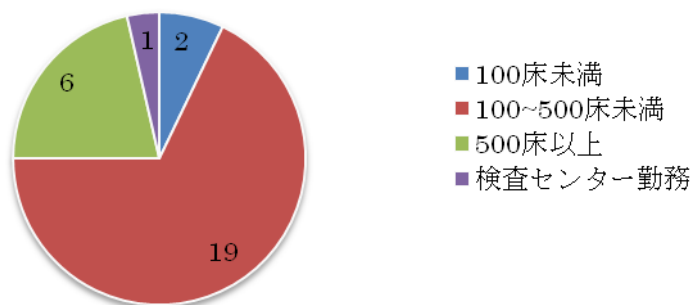


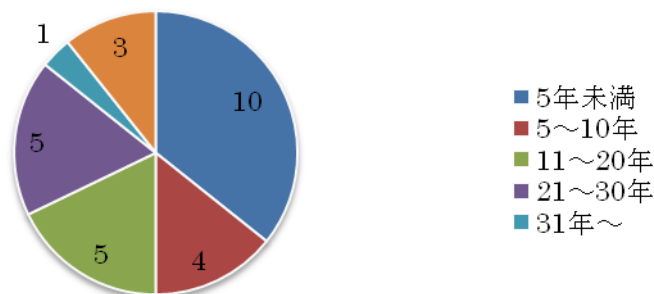
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか。



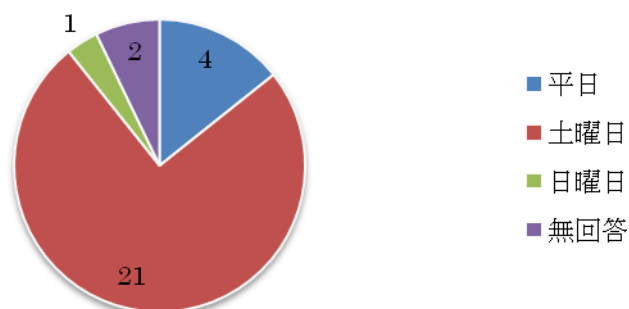
2. 血算の平均検体数と血液検査に従事するスタッフ人数は。

スタッフ人数	2	3	4	5	6	7	8	11
検体数	40~100	15~550	150~600	400	700~800	100	60~800	検査センター

3. あなたの血液検査経験は何年ですか。



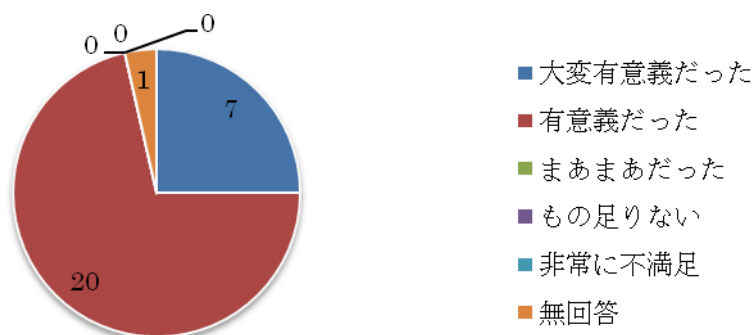
4. 研修日について、希望の曜日または時間はありますか。



平日の希望時間：18時、18時30分

土曜日の希望時間：14時、15時、16時

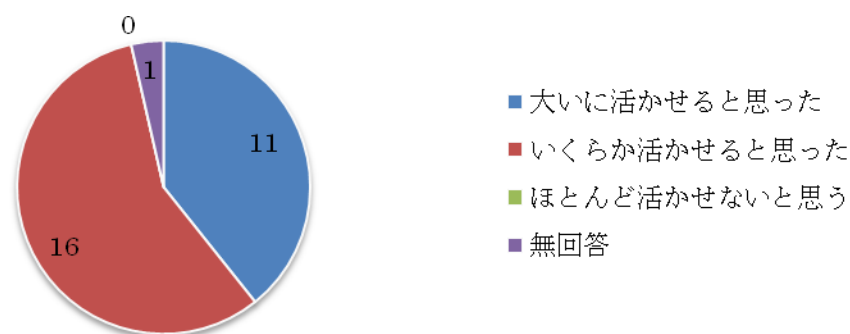
5. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか。



<理由>

- ・新しい機器の紹介に合わせ、実際に使用している施設の話も聞くことができて良かった。
- ・他施設の再検ロジックが聞けたため。
- ・実際の運用を施設見学なしに聞けたので有意義だった。
- ・自動化学会で血球分析装置の進歩について話が行われていた。今日も色々な話が聞けて良かった。
- ・低値P L Tの精度がどのようなものかを知ることができた。

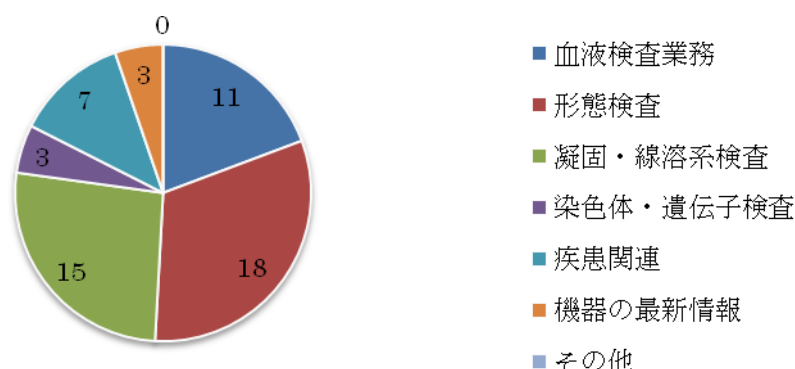
6. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか。



<理由>

- ・器材等に関するテーマでも実際の業務に即しており参考になりました。
- ・CHrやRetHeなど、今後検討したいと考えていたので興味深い話でした。
- ・今後の機種選定の参考になりました。
- ・新しい分析機の検討内容、取り組み方など、参考になりました。
- ・血液と輸血が統一された部門の運用、合理化を参考にしたいと思いました。
- ・刺激を受けました。

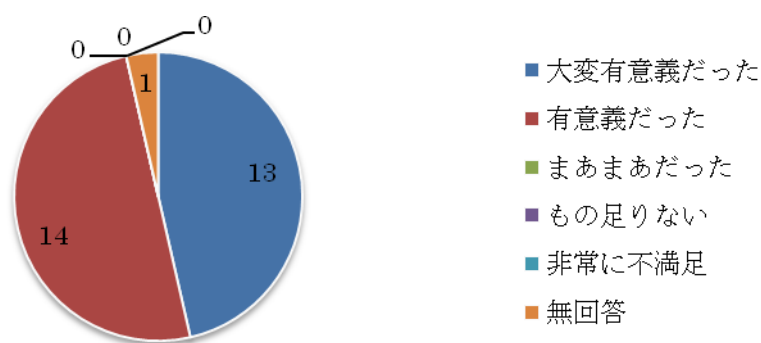
7.今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものは何ですか。(複数回答可)



8.今後、希望する研修会テーマはございますか。

- ・DICおよび周辺の凝固・線溶マーカーについて（ADAMTS13，SFなど）
- ・凝固検査機器の各社の比較
- ・染色体、遺伝子検査の血液疾患を対象とした業務経験、実際に検査をするうえで工夫していること、困っていることなど現場の声を聞いてみたい。

9.今回の「いまさら聞けない血液検査」についてどのような印象をおもちですか。



<理由>

- ・今までやったことのない方法が聞けたので試してみたい。
- ・新たな方法が有用であると思われた。
- ・経験が浅い分、知識を増やす機会になりました。
- ・血小板凝集には日常よく出会うので、他施設の確認方法が聞いて良かったです。
- ・改めて考えなければいけないと思った。

10. 今後希望する「いまさら聞けない血液検査」のテーマはございますか。

- ・白血病を見逃さないポイント。
- ・恒数について。
- ・血小板について詳しく。
- ・血液疾患の簡単な鑑別法。
- ・凝固、線溶系について。
- ・凝固検査について。項目追加依頼があった場合、参考値として受けるのか、再採血をお願いすべきか悩むことがあるので教えてほしい。

11. 現在、自施設で血液検査について困ったことはありますか。

- ・D I F F が検出できない検体についての検査の進め方、検索の仕方を教えてほしい。
→W B C の膜異常によって染色が行われず、目視は全く異常がないにも関わらずD I F F は検出できない。メーカーの学術でも稀な症例なので検索できなかった。
- ・形態検査について
- ・R A や R C M D に分類される様な疾患で、血算および血液像のみで臨床に疑いをコンサルトすることが難しいが、何か良い方法はないか。